

令和5年度・市社協の事業計画と予算のあらまし

令和5年度は、5ヵ年計画である「第6次大和市社協地域福祉活動計画」の最終年を迎えます。これまでの実践を評価するとともに住民ニーズを踏まえた第7次活動計画の策定にあたります。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、生活に困窮された方々に対する食料品・日用品等の支援活動については、令和5年度も継続して実施していくとともに、フードドライブ事業を定期的に行うことにより、支援用の食料品を積極的に募集していきます。アフターコロナとして浮かび上がる生活困窮に関する相談への対応を重点的に行い、コロナ特例貸付の返還にかかる猶予等のフォローアップ対応や、食料支援を入口とした家計改善の対応を充実させていきます。

権利擁護事業に関しては、市民後見人養成・活動支援と並行して、成年後見利用促進にかかる中核機関の設置に向けて行政との連携により検討会議を実施し、年度末までの設置を目指します。

また、ボランティアの育成支援については、引き続き「福祉の魅力を伝えるプロジェクト」による福祉の魅力を伝える取組みを進めるとともに、プロジェクトメンバーの講師登用や新たなプログラムメニューの提供により、学校内福祉教育の支援を行っていきます。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度・3年度は中高生の福祉体験学習が実施できませんでしたが、昨年度は一部ボランティアグループでの体験学習が再開できました。令和5年度は、受入れ施設と調整をしながら、体験メニューの再検討に取り組んでいきます。不登校や引きこもりの方々への支援については、一人ひとりの社会参加に向けた意向と意欲を引き出し、新たな社会資源とのネットワークづくりのきっかけとなるような居場所・サロンづくりを、行政との連携により進めていきます。

拠点区分別当初予算（支出）

(単位：千円)

拠点区分	予算額
法人運営事業	142,218
共同募金配分事業	9,117
企画広報啓発事業	20,635
ボランティア活動事業	6,655
地域援護事業	19,639
あんしんセンター事業	7,476
在宅援護委託事業	29,495
社会福祉事業区分合計	235,235
当期末支払資金残高	34,638
総合計	269,873

※収益事業区分予算：8,450千円
(主に飲料自販機の設置による販売手数料収入)

「大和市まごころ地域福祉センター」

指定管理者変更のお知らせ

平成13年10月に開所した当初から21年6ヶ月、まごころ地域福祉センターの管理運営及び各種事業を行ってまいりましたが、令和5年3月をもって、本会による指定管理事業を終了いたしました。この間、多くの皆様にご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。令和5年4月以降は「社会福祉法人敬愛会」による管理運営となります。引き続き、よろしく願いいたします。

新規・充実事業の概要

事業名	事業区分		概算費用 (単位：千円)
	新規	充実	
法人運営事業			121,559
第6次地域福祉活動計画の評価及び第7次計画策定	○	○	180
善意銀行運営事業			10,818
生活困窮世帯・ひとり親世帯に対する食料支援		○	400
ボランティア育成支援事業			1,101
福祉の魅力を伝えるための人材育成		○	459
不登校・引きこもりの若者の居場所づくりと社会資源につながるネットワークづくり		○	12
緊急貸付事業			487
緊急生活資金の貸付条件の見直し及び拡大		○	487
生活困窮者自立支援事業			13,463
生活支援事業及び権利擁護事業の窓口一本化による総合相談体制の整備		○	13,463
市民後見人養成事業			2,576
中核機関設置準備にかかる検討会議の実施		○	72

※「概算費用」はサービス区分の予算額であり、新規・充実事業はその一部を充てています。